

元気企業
訪問

株式会社
岡友恵堂

炭酸せんべいから バウムクーヘンまで 信用を積み重ね 事業を再生

事業継続を断念も再開を決意

温泉地の定番の土産物である炭酸せんべい。同社は炭酸せんべいを主力にさまざまな焼き菓子を製造しています。

戦地から引き揚げてきた岡秀樹社長の祖父が大阪の菓子メーカーで修業した後、1947年に赤穂で創業しました。戦後の食糧統制が解除され入手できるようになった小麦粉、砂糖、卵でできる瓦せんべいの生産からスタート。赤穂市御崎地区に集積している温泉旅館から炭酸せんべいを土産用に売りたいとの依頼があり、昭和40年ごろから旅館の売店に並ぶようになりました。その後、バウムクーヘンやミニカステラなどの半生菓子も手掛けるようになり、卸会社を通して全国のスーパーでも商品が売られるようになっていきました。しかし、直売店を持つなどの拡大路線が裏目に出て2002年、先代の時に事業の継続を断念します。

先代は「関係先に迷惑をかけた分をちゃんと返していきたい」との思いから、半年後には事業の再開を決意します。当時、別の会社で働いていた岡社長は、会社の体力に比べてあまりにも大きい負債額のことを知り、事業継続は難しいと考えていましたが、「私が機

械に詳しくあったことから、父に頼まれ何度か工場を訪ねるうちに父の懸命な姿に打たれて手伝うことにしました」と振り返ります。

売り上げが全盛時の2割ほどにまで落ち、現金がほとんど底を突く中、砂糖を仕入れるために親戚からさらに借金をせざるを得ないほど苦しい時期が続き、「何のために事業を続けているのか」と自問自答したこともあったといいます。それでも歯を食いしばって事業を続けるうちに問屋からの注文が徐々に増えていき、カタログ販売業者向けなどにOEM生産も伸び、5年目ごろからようやく事業が軌道に乗り始めました。

09年に苦楽を共にした先代が急逝。その後は、それまでに築いた信用を基に手元資金に余裕を持たせるべく弁済計画を少し先延ばししてもらいながら、19年にはついに完済にこぎ着けました。「ただ借金を返済するためだけに事業を続けるのは本当にしんど

かったです、ようやく前を向いてやりたいことに取り組んでいけます」と表情を和らげます。

信用を積み重ね新たな一歩を

ひょうご産業活性化センターの設備貸与制度は20年近く前に活用していましたが、センターも債権者の一つでした。担当者からは「しんどくてもしっかり返していくことが次の信用につながる」とのアドバイスも受けていたそうです。そして完済のめどが立ったころから「次の投資の際にはセンターも強力にサポートする」との励ましの言葉もあり、「信用を積み重ねる大切さを思うとともに非常に心強かった」と話します。

2017年には設備貸与制度を活用してコンピュータースケール(自動計量



代表的な商品

器)を、さらに18年にはせんべいを焼く自動焼成機を導入しました。生産数量が15%ほど増え、「卸先、OEM先から増えつつある受注にも応えられるよう

になりました」と話します。

昨年はコロナ禍の巣ごもり消費でお菓子の需要が増え、今年度の業績も堅調です。今後はより好まれる軟らか

いお菓子のラインアップを増やしていきたいと話す岡社長。「これからも地に足を着けながら、背伸びすることなく事業を育てていきたい」と真摯に語ります。

会社概要
株式会社岡友恵堂

所在地 赤穂市折方1495-23
代表取締役 岡秀樹

事業内容 炭酸せんべい、半生菓子の製造
TEL 0791-46-4076

支援メニュー講座

設備貸与制度

設備貸与制度の活用で経営基盤を強化

制度概要

設備の増強・更新を図ろうとする中小企業者に代わって当センターが設備を購入し、中小企業に長期(10年以内)かつ固定金利(年率0.70~1.95%)で割賦販売またはリースするものです。2016年度から10%の保証金が原則不要となりました。

メリット

最大のメリットは、金融機関の借り入れ枠や信用保証協会の保証枠とは別枠で利用できることです。また、設備貸与制度のみならず、当センターは曜日ごとに中小企業診断士等の専門家による無料の窓口相談を随時受け付けています。さらに当センターは中小企業支援機関との連携により県内企業を支援する「中小企業支援ネットひょうご」を活用し、経営、技術、情報などさまざまなサポート体制が構築されていますので、制度利用後のフォローアップを含めた手厚いサポートがあるのも特長です。

設備の更新、新規導入、省エネへの取り組みをご検討されている方はぜひ設備貸与制度の利用をご検討ください。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター設備投資支援室 TEL 078-977-9086

伝えたい思い出を
最高のカタチに

写真集・詩集・自費出版のお問い合わせは

神戸新聞総合印刷 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
神戸新聞総合出版センター TEL 078(362)7143
http://www.kobepn-printing.co.jp/